

ワークシート(第4章 EPISODE)

EPISODE 4-1

● テスト直しがイヤなJさん

Jさんは中学1年生。中学校に進学してから、「数学が難しい」と感じるようになりました。方程式や比例・反比例、空間図形など、内容も多く、数式や解法もたくさんあって、頭に入りません。

数学に苦手意識があるので、Jさんは数学のテストも、結果が返ってきてからのテスト直しも嫌いです。合っているところはそのままにして、自分が間違った問題では、正解を丸写しして終わりにします。赤字で正解を書きこんで提出すれば、先生から何も言われなし、仲のよい子もそうしているので、それでよいと思っています。

あるとき、先生が授業の後で、Jさんが正解を赤字で写しているだけの様子を見て声をかけました。

先生「正解を写すだけじゃダメでしょ、なんでそうなったか考えなきゃ」

Jさん「でも間違った問題なんだから、どうしてそうなったのかなんてわからない。

正解がわかればいいでしょ」

先生は、何とかしてJさんにもう少し立ち止まって考え、振り返り、どこを間違えたのかを考えてほしいと思っています。

EPISODE 4-2

● 「わからない」が口ぐせのKさん

小学4年生のKさんは、「わからない」が口ぐせのようになっていきます。家で学校の授業の様子についてたずねたときも、「先生が言っていた説明がわからない」「授業で配るプリントも、どうやってやればいいのかわからない」などと言います。宿題は出てないの、と聞いてみると「宿題はどこをやったらいいかよくわからなかったから、やれなくても仕方ない」といった様子。親は「わからない」という言葉にへきえき気味で、どこがわかっていないのか、どうやったらわかるようになるのか、見当がつかない気持ちになります。

●本章での学びを踏まえて、EPISODE 4-2を次の視点で検討してみましょう。

①親の立場から、Kさんの「わからない」にどう向きあえばいいでしょうか。

②どのような理解が可能か、またどう支援していくことができるでしょうか。

(EPISODE4-2 記入欄)

① 親の立場から、Kさんの「わからない」にどう向きあえばいいでしょうか。

② どのような理解が可能か、またどう支援していくことができるでしょうか。

記入者名： _____ (日付： _____ 年 _____ 月 _____ 日)